



平成21年2月13日

各 位

会社名 株式会社 武蔵野銀行
 代表者名 取締役頭取 加藤 喜久雄
 (コード番号 8336 東証第一部)
 問合せ先 執行役員総合企画部長 島 雄 廣
 (TEL. 048-641-6111)

平成21年3月期通期の業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年11月14日に公表いたしました平成21年3月期通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成21年3月期 個別業績予想数値の修正

通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(金額単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	80,500	9,700	6,000	175円 60銭
今回修正予想(B)	78,500	△ 5,800	△ 3,100	△ 91円 40銭
増減額(B-A)	△ 2,000	△ 15,500	△ 9,100	—
増減率(%)	△ 2.4%	△ 159.7%	△ 151.6%	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	77,679	17,176	10,969	318円 86銭

(2) 平成21年3月期 連結業績予想数値の修正

通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(金額単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	91,000	10,100	6,000	175円 60銭
今回修正予想(B)	89,500	△ 5,400	△ 3,200	△ 94円 35銭
増減額(B-A)	△ 1,500	△ 15,500	△ 9,200	—
増減率(%)	△ 1.6%	△ 153.4%	△ 153.3%	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	89,679	18,087	10,822	314円 59銭

2. 修正理由

(1) 個別業績予想の修正理由

経常収益は、市場環境の悪化による有価証券利息の減少及び投資型商品の販売低迷による手数料収入の減少等に伴い、平成20年11月14日の前回予想を20億円下回る見込みであります。経常利益は、取引先の業況悪化等に備え貸倒引当金を積み増したことや、金融市場の混乱を受け保有株式及び債券等に追加の減損が生じたことから、前回予想比155億円減少し、58億円の損失となる見込みです。これらにより、当期純利益は、前回予想比91億円減少し、31億円の損失となる見込みであります。

(2)連結業績予想の修正理由

個別業績予想の修正によるものであります。

3. 配当

期末配当金につきましては、当初予想どおり1株につき30円とし、年間配当金は1株につき60円とさせていただきます。

【ご参考】

平成21年3月期通期 業績予想修正の概要(単体)

(金額単位:億円)

	前回発表 予想	今回修正 予想	増減
経常収益	805	785	△ 20
コア業務粗利益	592	582	△ 10
うち資金利益	522	524	2
うち役務取引等利益	52	41	△ 11
経費(△)	367	366	△ 1
コア業務純益	225	217	△ 8
与信関係費用(△)	113	173	60
有価証券関係損益	5	△ 79	△ 84
経常利益	97	△ 58	△ 155
当期純利益	60	△ 31	△ 91

主な増減要因

<コア業務純益>

預金・貸出業務を中心とする資金利益は、計画どおり推移しておりますが、市況の悪化に伴う投信等の販売低迷により、役務取引等利益が減少する見込みから、前回発表予想比8億円減少の217億円を見込んでおります。

<経常利益・当期純利益>

コア業務純益の減少に加え、与信関係費用が60億円増加するほか有価証券関係損益が84億円減少すること等から、経常利益は前回発表予想比155億円減少の△58億円、当期純利益は同じく91億円減少の△31億円を見込んでおります。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先> 総合企画部(坂本、田上、武川) TEL 048-643-6468